

gakuto

学塔



2008.Spring

No.121



クローズアップ
自著を語る「江戸時代の設計者」

これだけは読んでおきたい
各学部の先生からのオススメ本

From Students
学生さんが発見!
図書館オススメの図書

ブックロウのPick Upコーナー!!
「MIUSE」で、図書館の使い方紹介&
図書リクエストについて

News!
図書館ツアーを実施します!!

特集

三重のおもしろい
ものみつけ



『江戸時代の設計者 異能の武将藤堂高虎』

〈講談社 2006.3〉
〔所在〕図・展示棚
〔請求記号〕289.1/F 67

藤田 達生 先生
教育学部教授

皆さんが通っているこの三重大がある「津市」の基礎を作った人が誰だか知っていますか？それが今回の主役、藤堂高虎です。この藤堂高虎が津に来てから今年でちょうど400年。市内では各種イベントも行われていますし、新聞やテレビなど様々なメディアなどでも高虎について取り上げられています。今回はその高虎研究の第1人者である藤田先生にお話を伺いました。

津市と藤堂高虎の関わりについて

藤堂高虎の津入府から今年で400年ということで様々なイベントが企画されています。でも藤堂高虎が誰か知らない新入生の方も見えるかもしれませんので、高虎と津の関係についてお教えいただけますか？
藤堂高虎は、ちょうど400年前に伊予今治（今の愛媛県今治市）から津に転封（転勤）してきました。彼は津の基盤を整備した人で、津城や上野城（伊賀市）なども彼の手によるものです。高虎は津に新しいタイプの城下町、つまり「人工都市」を作り上げました。埋め立てや造成などを大規模に行い、武家地・町人地・寺町などのゾーンを作って現在の津市の街区の基礎を確定しました。特に伊勢街道・伊勢別街道・伊賀街道を城下町に引き込み、津に諸国から参宮客をはじめとする様々な人と物が集中するように工夫したことが重要です。それによって、津は東海地域において名古屋に次ぐ中核都市へと成長したのです。

藤堂高虎とはどんな人物

藤堂高虎については「世渡り上手」などというようなイメージが定着している感がありますが、

先生はどのような人物だと思われますか？

非常に魅力的な人物ですね。当時の武将にとつて自分の才能を認めてくれる主君を選ぶことは常識です。昔のことは、まずその当時の価値観で判断する必要があります。「世渡り上手」というのは、高虎に関係する基礎研究もなかった時期の、司馬遼太郎の小説に描かれた高虎像にすぎないのです。高虎は、秀吉の天下統一戦や朝鮮侵略などの最前線で戦いましたから、この国のいく末を考えざるをえない立場にありました。そのなかで秀吉政治の限界を悟り、新しい国づくりを家康のもとでおこなった。家康が天下を取ったのは、一般的には三河時代からの側近の働きによるものだとされていますが、敵対する豊臣方の有力大名と連携する必要があります。高虎はその橋渡し役を果たしたのです。

歴史上の人物を語る上で重要なことは

―― 武将と聞くとどうしても「戦う人」というイメージですが、藤堂高虎は「政治家」「治世者」というイメージも湧かせてくれますね

高虎は戦争の最前線に立つことで、信長以来の国家の中央集権化に限界を感じたと考えます。そこで、高虎は新しい国づくりのために、分権国家「藩」を構想し、それを自らが率先して誕生させたのです。教科書にも「藩」はよく出てきますが、これは幕府の法令によって作られたものではありません。高虎の生きた時代は、長い戦乱によつて疲弊した地域社会が、復興・活性化することが最大の課題でした。諸大名は、地域社会を安定的に治める必要があったのです。まさに猛将から治世者への転換の時代といえるでしょう。そのなかでも、藤堂藩は早く成功したケースといつてよいのです。私は、高虎を通して幕藩体制成立期について研究をさらに深めてゆきたいと思っています。

先生のご専門について教えてください

研究をはじめた頃は、室町時代から戦国時代にかけての民衆に興味を持っていて、一揆・惣村（自治村落）について研究していました。しかし、ただ民衆の力量だけを見つめていても歴史を語れません。国家や権力についても見ておかなければ、トータルな研究はできないと考えました。三重大大学に赴任した16年ほど前から、戦国大名や織田・豊臣政権について本格的に研究を始めたのです。やはり信長や秀吉を生んだ東海地域に来たことが、きっかけとなりました。目下ところは、江戸時代の初期に才能を発揮した為政者、この本の場合は藤堂高虎を通して、幕藩体制の成立過程について研究しています。

学生さんへのメッセージ

―― 学生の皆さんにメッセージをお願いします

この世の中には、絶対的なものはありません。ものごとは全て相対的です。皆さんには、通説・常識を批判的に見ていただきたい。つまり「批判力」を身につけてほしいですね。高校までは、必ず答えのある絶対的な価値観に支配されていたと思います。大学生活を通じてものごとを多面的に理解する訓練を重ねてほしいと願っています。

貴重なお話ありがとうございました



これだけは読んでおきたい

READING * LIST

各学部の先生からのオススメ本

共通教育 高山進先生

西田正規 著
『人類史のなかの定住革命』

講談社学術文庫
〔所在〕図・開架・PB
〔請求記号〕389/N81



西田は「生態学のレベルに下りて行う人類史」の立場から、人類史の画期を、定説となっている「農耕」の誕生にではなく、氷河期明けの「定住」に求める。氷河期が約1万年前に開け、農耕よりも早く始まった定住化の過程は、「人間の肉体的、心理的、社会的能力や行動様式のすべてを再編成した革命的なできごと」だという。「定住」以前の生活様式は、哺乳類6500万年の伝統を持つ「遊動」であり、通説を根底から覆す論理展開が小気味よい。

生物資源学部 田口 寛先生

吉川 暉 編
『新エネルギー最前線』

化学同人
〔所在〕図・開架・図書
〔請求記号〕501.6/sh62



あと数十年もすると、世界中の原油が枯渇し、このままでは大変なことになるとのことで、新エネルギーの開発が盛んになってきた。ただし、原油が枯渇すれば、ガソリン車は全く動かせないが、原油は世界の全エネルギー需要のおよそ1/3に貢献している程度である。今や、あちこちで風力発電の風車が回り、クリーンエネルギーかも知れないが景観を損なうとか、なんであれが1基1億円以上もして、強風ではお手上げなんだとかのクレームを言われ、またバイオエタノールは、初期段階ですら、すでに食料穀物やその加工品の価格が連鎖的にかなり値上がりし、日常生活にも大きな影響を与えはめている。といった、今後のエネルギーは、大所高所に長期展望するとうなるのかの示唆を与えてくれるのかこの本である。

工学部 林 照幸先生

石井茂 著
『量子コンピュータへの誘い』

日経BP社
〔所在〕図・開架・図書
〔請求記号〕007.1/I75



量子コンピュータとは何だろう、面白そうだけど難しそうだ。このように感じている方も多いのではないだろうか。本書は一般的な常識だけで量子コンピュータを理解できるようにという目的をもって書かれている。20世紀に生まれた「量子」と「コンピュータ」という2つの発見・発明が21世紀に向けてどのように結びついていくのかが豊富な話題とともに解説されており、大変読みやすく興味深い本である。ぜひ一読されたい。

医学部 清水房枝先生

スペンサー・ジョンソン 著/
門田美鈴 訳
『チーズはどこへ消えた?』

扶桑社
〔所在〕図・開架・図書
〔請求記号〕933/J64



21世紀に入り、350万人が読んだ国民的ベストセラーと言われた本「チーズはどこへ消えた?」は、あらためて自分を見なおし、前向きに生きることをキャッチフレーズにしている。2匹と2人は、迷路の中に住みチーズを探す。「チーズ」は私達が人生で求めるものであり(仕事・健康・財産・精神的安定など)、急激な社会状況の変化に、迷路(チーズが追い求める場所)で、いかに対応すべきか考える機会をくれます。

教育学部 山口泰弘先生

陰里鉄郎 著
『陰里鉄郎著作集 日本近代美術史研究と美術館・研究所・大学』

一州堂
〔所在〕図・開架・図書
〔請求記号〕704/Ka 18/1-3



東京国立文化財研究所研究員、三重県立美術館館長、横浜美術館館長、名古屋芸術大学教授などを歴任した著者が、その多彩な経歴に裏打ちされた多様な視点から日本近代美術を捉え、平易に論じた美術評論集である。「近世洋風画から日本の印象派へ」「大正期を中心に」「昭和から現代へ」の3冊から成る。分断された時代として捉えられがちな近世を、近代とひとつづきの地平として一望する広い視野を特徴的としている。

人文学部 青木雅生先生

夏目漱石 著
『私の個人主義』

講談社学術文庫 ほか
〔所在〕図・開架・図書
〔請求記号〕PB914.6/N58



夏目漱石の講演録である。企業や経済において「グローバル化」が言われているが、明治維新においても西洋文明の吸収の仕方が自分たちの信念から良いと評価しているのではなく、彼の国でよいからよい、ということになっている。それは結局「他人本位」でしかなく、自己のしっかりしたものを持っている「自己本位」な自分を立てる「個人主義」とはいえない状態にある。それは「利己主義」のような自分勝手とは別物であるという。今の自分たちを見直す示唆に富んでいると思う。

三重のおもしろいものみつけ

特集

三重県の歴史や自然、観光地について書かれた図書を探しに、図書館へ来てみませんか？



三重といえば、伊勢神宮でしょ！

天照大神と豊受大神を祀る伊勢神宮は、「お伊勢さん」「大神宮さん」と親しく呼ばれてきました。江戸時代、貧しい庶民層では、講での積み立て金を使い、くじで当たった者が皆の代参としてお伊勢参りを行っていました。その数は、数百万人とも言われています。



『検定お伊勢さん
公式テキストブック』
伊勢商工会議所 編集／
伊勢商工会議所



『伊勢神宮ひとり歩き—
神の森のヴィジュアルガイドブック』
中村葉子 著／ポプラ社

歴史や文化を知りたい

昔、三重には、東海道や伊勢神宮参拝のための街道がいくつもありました。街道が人々の交流の場となったおかげで、文化や歴史が豊かです。経済発展にも役立ちました。

伊勢型紙のような伝統工芸、伊勢木綿や松阪木綿といったものも、今に伝えられています。

歴史上の人物では、本居宣長や松尾芭蕉は三重県出身です。彼らが生きた時代の三重は、どんな様子だったのでしょうか？



『発見！三重の歴史』
三重県史編さんグループ 著／
新人物往来社

歴史街道GISでは、昔の地図と現在の航空写真を見比べることもできます。
●歴史街道GIS
URL: <http://culgeo.i-portal.mie-u.ac.jp/>

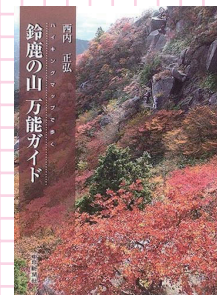


豊かな自然を満喫

三重は東側を海、西側を山に囲まれ、気候は温暖です。二見浦や英虞湾、赤目四十八滝といった景勝地もあります。世界遺産の熊野古道は、石畳を歩きながら手付かずの自然に触れることができます。暖かい季節に少し遠出して散策するのはいかがですか？



『世界遺産高野山・熊野古道
ベストコース完全ガイド』
／扶桑社



『鈴鹿の山万能ガイド：
ハイキングマップで歩く』
西内正弘 著／中日新聞社



『東海自転車散歩：
愛知・岐阜・三重・静岡
浅野真則ほか 著／山と溪谷社

ブックロウが行ってみたい三重の観光地



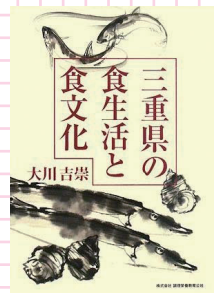
三重県クイズに挑戦

- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------------|-----|----|
| 地名 伊勢神宮 出身者 生産物 観光 | 1 三重県の県庁所在地の名前は、日本で2番目に短い | Yes | No |
| | 2 “伊勢神宮”は、正式名称ではない | Yes | No |
| | 3 江戸川乱歩は、三重県出身である | Yes | No |
| | 4 銚やかぎの生産全国順位は3位である(2005年) | Yes | No |
| | 5 鳥羽水族館で見られる人魚のモデルとなったとされる生物は、ラッコである | Yes | No |

解答は7ページに掲載

三重の食を知ろう

食べ物は、松阪牛や伊勢えびなど有名なものが満載です。鳥羽や志摩地方のリアス式海岸は好漁場で、海女漁業が行われています。てこねずし、伊勢うどんといった郷土料理もあります。



『三重県の食生活と食文化』
大川 吉崇 著／調理栄養教育公社

天むすやいちご大福は、実は三重県が発祥の地です。ぜひご賞味を！



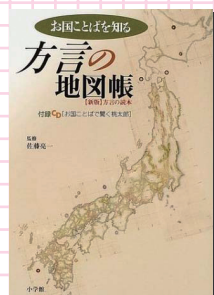
突然ですが、三重の方言講座です！

「そろそろご飯にしようか。ご飯つけてー。※1」
「えー、さっきご飯食べたばかりやにー。※2」

この言葉の意味がわかったら、あなたは三重の方言通！三重の方言は関西の言葉に近いです。とてもやさしい印象の言葉です。でも地域によって少しずつ違うので、比べてみてください。



『方言クイズ：
日本のことばは
おもしろい！』
井上史雄 総監修／講談社



『お国ことばを知る
方言の地図帳』
佐藤亮一 監修／小学館

※1 そろそろご飯にしましょう。ご飯をよそってください。 ※2 先ほどご飯食べたばかりですよ。

三重の観光スポットはどこ？

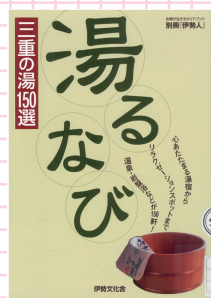
鳥羽水族館や二見シーパラダイス、志摩スペイン村、長島スパランド、なばなの里などがあります。ガイドブック片手に出発！



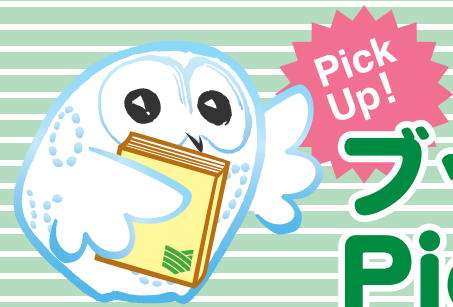
『るるぶ楽楽
伊勢・志摩・南紀』
／JTBパブリッシング



『すいぞくかん100：
鳥羽水族館のなかまたち』
鳥羽水族館 監修／講談社



『湯るなび：
三重の湯150選』
伊勢文化会編集／伊勢文化舎

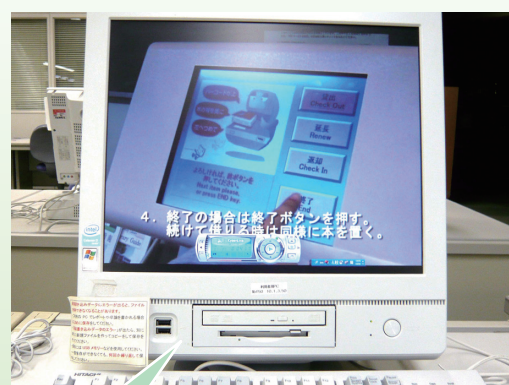


ブックロウの Pick Upコーナー!!

図書館のホームページ
<http://www.lib.mie-u.ac.jp/>
から Check it out !!

MIUSEで、図書館の使い方ビデオが見られます

三重大学学術機関リポジトリMIUSEは、三重大学の先生方の論文などを収集・蓄積・保存し、無料公開しているインターネット上の書庫です。論文のほかに動画も登録しています。図書館の使い方ビデオ[国際平和論演習受講生(人文学部児玉克哉先生担当)制作]をぜひご覧ください。図書館の便利な利用方法をご紹介します。



“図書館の使い方”で検索

ファイルをダウンロードして、
動画をご覧ください。

- MIUSE URL : <http://miuse.mie-u.ac.jp/>
- 図書館の使い方ビデオURL : <http://hdl.handle.net/10076/2350>

図書購入リクエストをお待ちしています

この図書を読みたいのに、三重大にない!
そんな時はあきらめないで、希望図書の購入リクエストして下さい。
リクエストされた図書は、図書館の購入候補になります。詳細は図書館のホームページを参照して下さい。

- 図書購入リクエスト詳細URL :
http://www.lib.mie-u.ac.jp/student/req_book.html
- 問い合わせ先
附属図書館・閲覧担当 lib-service@ab.mie-u.ac.jp

読みたい図書を手にする
チャンスです!
皆さんからのリクエストを
お待ちしております。



館内掲示ポスターもご参照ください

特集ページ クイズ解答

- | | | |
|-------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| 1 No (三重県の県庁所在地は津市。日本で一番短いです。) | 2 Yes (正式名称は神宮です。) | 3 Yes (この名張市で生まれました。) |
| 4 No (2005年は1位です! 全国シェアは40パーセントです。) | 5 No (人魚のモデルとなった生物はジュゴンです。) | 全問正解の方は、三重県博士かも。 |



From Students 三重大学図書館

学生さんが発見! 図書館オススメの図書

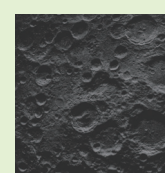
図書館の本は、授業で使うような少し難しいものばかりでしょうか? そんなことはないんです! いつか読んでみたいと思っていたあの本を探してみませんか? 図書館で働く学生さんが、図書館で見つけたとっておきの本を紹介します。



『環境問題はなぜウソがまかり通るのか?』
武田邦彦 著/洋泉社
【請求記号】519.5/Ta 59/2

現在「地球温暖化」の問題が広がっています。しかし、多くの人々は、理解していないのが現状です。この本は、京都議定書、バイオエタノールなどが易しくかかれており、社会の環境問題を理解しやすくなっています。

生物資源学部 喜多 潤さん



『フル・ムーン』
マイケル・ライト 編著/新潮社
【請求記号】446.4/L62

普段、何気なく眺めている月。この本はそんな月を題材にして、全体像や月から見える地球を写真で紹介しています。いつも夜空に輝く月の姿を見てみませんか?

生物資源学部 富永 紘志さん



『光とともに... 自閉症児を抱えて』
戸部けいこ 著/秋田書店
【請求記号】726.1/To 13

C戸部けいこ「フォアミセス」
大学図書館には、学生の勉強に必要な本もたくさんそろっていますが、意外とそういった本ばかりあるわけではありません。

その象徴としてこのおススメ本、実はマンガなんです!! マンガ型で自閉症児のかえる問題を一つずつ解決していくという物語で、本が苦手な人でも楽しんで読めます。皆さんもぜひ探してみてください。

工学部 藤田 早耶佳さん



『エブリリトルシング：人生を変える6つの物語』
大村あつし 著/ゴマブックス
【請求記号】913.6/O 64

6つの短い小説が1冊の本になっています。1つずつの小説でも十分楽しめます。しかしながら、6つを最初から最後まで読むと、あることに気がきます。これがこの本の面白いところだと私は感じました。気になる方はぜひ図書館で借りて、そのややもやを晴らしてみてもどうですか?

生物資源学部 明石 直さん



『竜馬がゆく』
司馬遼太郎 著/文藝春秋 刊
【請求記号】913.6/Sh 15

歴史好きもそうでない人も楽しめます。竜馬の生き方に感化される人が多数です。図書館にはこのような小説が実は沢山あるんですよ。

生物資源学部 海野 孝至さん



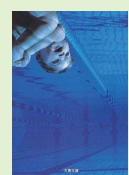
『三びきのコブタのほんとうの話：A.ウルフ談』
ジョン・シェスカ 文/レイン・スミス 絵/いくしまさちこ 訳/岩波書店
【請求記号】909.3/Sc 9

すぐに読めて、思わずつつこんでしまいたくなるおもしろい絵本なので、レポートやテスト勉強などで頭が堅くなってしまったときにぜひ息抜きとして読んでもらいたいです。

生物資源学部 山本 千明さん



図書館には、開架図書の棚に並んでいるものだけで13万冊くらいの図書があります。きっと皆さんのお気に入りもあるはず。図書館で探し物を見つけてみませんか?



『イン・ザ・プール』
奥田英朗 著/文春文庫 刊
【請求記号】913.6/O 54

主人公は精神科医。一般に精神科というと深刻になりがちだけど、本作は非常に明るい。文も読みやすく、現代にありがちな症状をとりあつかって作品になじみやすく一気に読んでしまいます。文章を読むことが苦手な人も短編集なので読みやすいと思います。

生物資源学部 宮原 佳見さん



『鹿男あをによし』
万城目学 著/幻冬舎
【請求記号】913.6/Ma 34

ドラマにもなった作品の原作本です。この作者の作品は土地に由来する悠久の歴史をエッセンスとして抽出し、使用しています。この図書は奈良が舞台。鹿もでてくるし、内容がとにかくおもしろい。読むと続きがきになり、さくさく読めます。そして読んだあとはさわやかな気分になります。

生物資源学部 宮原 佳見さん



『西洋服飾史 図説編』
丹野 郁 編著/東京堂出版
【請求記号】383.1/Ta 88

裾のふんわりと広がった豪華なドレスを着てみたいなあ、という人におススメなのが、この本。古代から現代に至るまでのヨーロッパを中心に、その当時にはやっていた服装を写真やさし絵で追っていくことができます。特に私がおススメなのが「近代」!! スカートを影らせるための苦勞と努力が窺えます...

この本を熟読すれば、美術館に行った時に、服装を見ただけで何世紀に書かれた絵か当てるようになるかも?!
人文学部 池山 美沙都さん



『風の歌を聴け：1973年のピンボール』
村上春樹全作品：1979～1989
村上春樹 著/講談社
【請求記号】913.6/MU 47/1

大学生の主人公「僕」が里帰りをして過ごした「街」での18日間。基本的には何も起こらず、ただ淡々と過ぎていく毎日。しかしそこにはとてもたくさんさんのことが語られています。その村上春樹の言葉を、いちいちオシャレでクールな文体とともに、読みとってもらいたいと思います。(風の歌を聴けへの紹介文です。)

生物資源学部 水野 浩路さん

展示図書コーナー新着図書

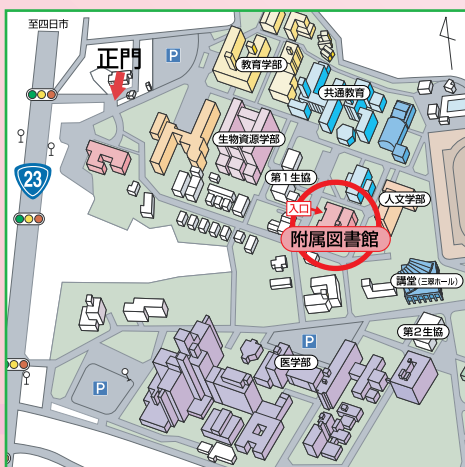
(2007年7月～12月発行分)

- 朴恵淑(共著)人文学部教授／『四日市学講義』 風媒社 2007.7 [519.52156/Y 74]
- 小田敦子(共著)人文学部教授／『アメリカンルネサンスの現在形』 松柏社 2007.11 [930.29/A 44]
- 高橋昌子(著)教育学部教授／『藤村の近代と国学』 双文社出版 2007.9 [910.26/Ta 33]
- 藤田達生(著)教育学部教授／『秀吉神話をくつがえす』 講談社 2007.9 [289.1/To 93]
- 藤田達生(編)教育学部教授／『都市をつなぐ』 新人物往来社 2007.9 [210.4/C 67/13]
- 藤田達生(校訂)教育学部教授／『朽木家文書 第1』 八木書店 2007.7 [210.08/Ku 94/1]
- 姉崎 弘(著)教育学部准教授／『特別支援教育:「障害特性の理解」から「教員の専門性向上」へ』 大学教育出版 2007.10 [378/A 49]
- 足立幸彦、垣内雅彦、岩田加壽子(共著)名誉教授、医学部准教授、附属病院管理栄養士／『C型肝炎・脂肪性肝炎 鉄制限療法で肝臓をまもる』 昌栄印刷 2007.8 [493.47/A 16]
- 金子 聡(共著)工学部准教授／『Photo/electrochemistry & photobiology in environment, energy and fuel 2002-2004,2006,2007』 Research Signpost 2002-2004,2006,2007 [572/P 56/2002-2004,2006,2007]
- 社河内敏彦、前田太佳夫、辻本公一(共著)工学部教授、工学部教授、工学部准教授／『流れ工学』 養賢堂 2007.9 [534.1/Sh 12]
- 石田正昭、波多野 豪(共著)生物資源学部教授、生物資源学部准教授／『循環型社会の構築と農業経営』 農林統計協会 2007.9 [611.7/J 96]
- 木村清志(監修・追補)生物資源学部教授／『随筆で楽しむ日本の魚事典1-4』 河出書房新社 2006.12-2007.6 [487.5/Su 16/1-4]
- 水野隆文(共著)生物資源学部准教授／『フィールドの基礎化学』 産業図書 2007.10 [430/Mi 96]

図書館ツアー実施します!

●期間●

2008年 4月9日^[水]～22日^[火]



★期間中、平日毎日実施

12:15～12:45

- 予約不要・参加無料
- 三重大図書館を探索したい方はどなたでも大歓迎!
- 集合場所: 図書館玄関ホール

ご来館
お待ちしております!



※※編集後記※※



●表紙の写真: 今回は図書館1階の図書の棚でお気に入りの図書を手にしている学生の方をフィーチャーしました。お気に入りの1冊がある方、まだその本にめぐり合えてない方、一度図書館で探してみませんか。

今回の特集は三重県ですが、南北に長い地形からして気候に地域差が見られるのは当然として、維新前の旧国六十余州のうち伊勢・志摩・伊賀・紀伊(東部)の4か国を母体としている三重県の地域文化に多様性があることは、他の都府県の基盤となる旧国が平均1.5であることからしても容易に首肯できます。三重大の学生も県内出身者の比率が年々高まっておりますが、同じ県内であってもまだまだ知らないことや場所が多いことと思います。他県出身の学生の皆さんともども、在学中に三重県の様々なことを学んでみて下さい。